

ゲンビどこでも企画公募 2015

作品募集：2015年2月1日(日)～3月31日(火)
展示期間：2015年6月6日(土)～6月28日(日)

被爆70周年を迎える2015年、「ゲンビどこでも企画公募」は被爆建築・旧日本銀行広島支店を舞台に開催します！

「ゲンビどこでも企画公募」は広島市現代美術館の無料パブリックスペースをアーティストに開放し、国内外より作品プランを募る公募プログラムとして毎年開催してきました。広島が被爆70周年を迎える2015年は、広島の昭和初期を代表する歴史的建築物であり、1945年8月6日の原爆投下の衝撃に耐えた被爆建築、旧日本銀行広島支店（広島市指定重要有形文化財）を会場に開催します。

本プログラムは、空間と作品が互いに魅力を引き出し合っていることが審査の重要なポイントです。絵画、立体、インスタレーション、パフォーマンス等、応募作品のジャンルは問いません。

広島に残る被爆建物の空間特性を活かした作品・展示プランをお待ちしています。

【特設サイト】応募要項・応募用紙のデータ、旧日本銀行広島支店展示スペースの写真等を掲載しています。<http://www.hiroshima-moca.jp/dokodemo/>

地元企業・特別審査員とともにアーティストの育成、そして美術の新たな魅力の創出

アーティストの意欲的な表現をサポートし、発表の場を提供するとともに、美術の新しい魅力を創出、発信することを目的として行う本プログラム。さらに、地域で支える創作活動の場を地元との連携から作り出し、の趣旨に賛同いただいた地元企業3社（オタフクソース株式会社、オリエンタルホテル広島、広島アンデルセン）と、各方面で活躍する特別審査員との協力体制により、創造の場と交流の場を創出します。

幅広い分野で活躍する特別審査員

池田修／（いけだ・おさむ）BankART1929代表、PHスタジオ代表

1957年大阪生まれ。1984年都市に棲むことをテーマに美術と建築を横断するチームPHスタジオを発足。展覧会、屋外でのプロジェクト、建築設計等、活動は多岐にわたる。1986～91年ヒルサイドギャラリーディレクター。2004年横浜市が推進するクリエイティブシティ構想のひとつ「BankART1929」の立ち上げと運営に携わり、まちづくりやアーティスト支援のプログラム、大型の企画展、出版事業等を行ってきた。国内外のシンポジウム参加も多い。

やなぎみわ／演出家、美術作家

神戸市生まれ。京都市立芸術大学大学院美術研究科修了。1990年代後半より、若い女性をモチーフに、CGや特殊メイクを駆使した写真作品を発表。2000年より、女性が空想する半世紀後の自分を写真で再現した「マイ・グランドマザーズ」シリーズ、少女と老婆が登場する物語を題材にした「フェアリーテイル」シリーズ等を手がけるほか、国内外での個展多数。2009年、第53回ヴェネツィア・ビエンナーレ日本館代表。2011年より本格的に演劇プロジェクトを始動。ヨコハマトリエンナーレ2014では、台湾で制作した移動舞台車を発表。

山下裕二／（やました・ゆうじ）美術史家、明治学院大学教授

1958年広島県呉市生まれ。東京大学大学院修了。同大学助手を経て、1990年より明治学院大学文学部芸術学科で教鞭をとる。現在、同大学教授。また、山種美術館顧問、森美術館理事、岡本太郎記念現代芸術振興財団理事などをつとめる。室町時代の水墨画の研究を起点として、縄文から現代美術まで、幅広く研究、批評活動を行っている。おもな著書に『室町絵画の残像』『日本美術の二〇世紀』『岡本太郎宣言』、作家・赤瀬川原平との対談集『日本美術応援団』『京都、オトナの修学旅行』などがある。



旧日本銀行広島支店
1936年に日本銀行広島支店2代目営業所として建てられた、広島の昭和初期を代表する歴史的建築物。設計は数多くの銀行建築を手がけた長野宇平治（ながの・うへいじ）によるもので、古典主義的意匠のシンメトリーな外観、控えめな装飾の建物である。爆心地から380mという近距離に位置しながらも崩壊を免れ、現在は広島市指定重要有形文化財として保存・公開され、広島市民の芸術文化活動の場として活用される。



- ・アーティストの育成
- ・美術館の新たな魅力を発見
- ・創造の場、交流の場をつくる



A 池田修
B やなぎみわ
C 山下裕二

作品プラン募集 2月1日(日)～3月31日(火) 必着

募集内容

- 旧日本銀行広島支店 1F (ロビー、一般事務室、第1応接室、第2応接室、面会室、廊下など) を活用した作品プランを募集します。
- 実現可能である作品、開催期間を通して展示できる作品であればジャンルは問いません。(パフォーマンスや演奏の場合は1日でも可)

応募方法

応募用紙(特設サイトからダウンロードするか、92円切手を貼った返信封筒を同封の上、美術館に請求。館内でも受付で配布)に、必要事項を記入し「ゲンビどこでも企画公募2015」係まで郵送してください。

- ダウンロード先/ <http://www.hiroshima-moca.jp/dokodemo/>
- 応募先/〒732-0815 広島市南区比治山公園1-1 広島市現代美術館「ゲンビどこでも企画公募2015」係

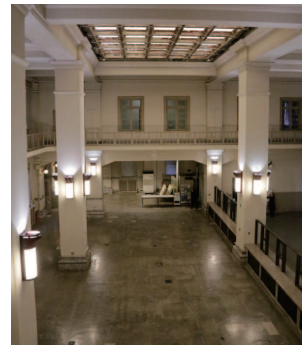
応募に関する注意事項

- 「ゲンビどこでも企画公募2015」特設サイト (<http://www.hiroshima-moca.jp/dokodemo/>) に記載されている応募要項を必ず確認の上、応募してください。応募条件に満たない場合は、審査の対象外とします。
- 応募は郵送か、美術館受付への持参(開館時間中)のみ。Eメール等によるデータの応募は受け付けません。
- 作品プランのみの募集です。実際の作品は受け付けておりません。
- 会場を下見する場合は、展示中の作品や他の来館者に注意を払ってください。

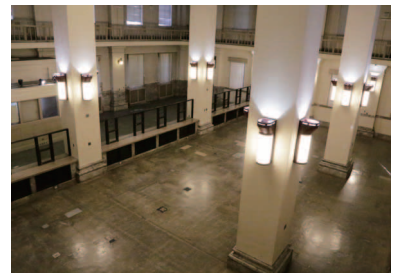
【旧日本銀行広島支店 内部写真】



ロビーと一般事務室



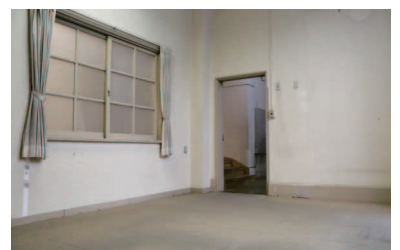
一般事務室



ロビーと一般事務室



第1応接室



第2応接室

審査選考・結果発表 5月1日(金) 特設サイトで入選者発表!

審査および入選者の発表

特別審査員と当館学芸スタッフによる審査を行い入選者(10名/組程度)および各賞を選出します。

- 入選: 10名/組(予定) →金一封(5万円)とオリエンタルホテル広島・シングル1泊宿泊券、オタフクソース株式会社と広島アンデルセンより各企業の製品が授与されます。
- 特別審査員賞: 3名/組
- オリエンタルホテル広島賞: 1名/組(オリエンタルデザインギャラリーでの個展開催の機会提供)
- 観客賞: 1名/組(来場者による投票。投票期間: 6月6日～6月21日)

展覧会 6月6日(土)～6月28日(日) 入場無料(会期中無休)

- ◎入選作品とスペースのコラボレーションをぜひご覧ください!

展示会場

- 旧日本銀行広島支店 1F (広島市中区袋町5-21)

授賞式

- 2015年6月6日(土) 14:00～

式は誰でも参加可能、新しい才能の発見と応援にぜひお越しください。

地元協力企業の日

観客賞へ投票していただいた先着50名様に素敵なプレゼントがあります。

- 広島アンデルセンの日/6月7日(日)「デンマークフェアのパン」
- オタフクソースの日/6月14日(日)「広島お好み焼こだわりセット」

※プレゼントの内容は変更になることがあります。

広島市現代美術館

(学芸担当: 山下、小島 広報担当: 後藤、鈴木)

〒732-0815 広島県広島市南区比治山公園1-1

TEL/ 082-264-1121(代表)・082-264-1146(学芸直通) FAX/ 082-264-1198

E-MAIL/ hcmca@hcmca.cf.city.hiroshima.jp WEB/ <http://www.hiroshima-moca.jp>